

## 五月晴れのもと、親子で完走しました

### ～第29回登子連こいのぼりマラソン大会～

5月5日(水)、市営陸上競技場で『第29回登子連こいのぼりマラソン大会』（登別市子ども会育成連絡協議会主催）が行われ、参加者は春風を受けながら心地良い汗を流しました。

この大会は、時間を競うのではなく、自分の体力に合わせたペースで走り、完走を目指すことを目的に、毎年5月5日の子どもの日に開かれており、今年は、市内をはじめ、道内各地から親子連れなど131人が参加しました。

参加者は、3キロ・5キロ・7キロの3つのコースに分かれて一斉にスタート。コースとなった住宅街の道路では、親子で手をつなぎながら走る光景も見られ、沿道の市民から大きな声援が送られていました。

参加した二瓶航輔君（青葉小学校6年生）は「走ることが好きで参加しました。走り終わった後の風がとても気持ちいいです。来年も参加します」と笑顔で話してくれました。



## 夏山登山のシーズンが到来

### ～第30回カムイヌプリ山開き、市民登山会～

5月9日(日)、『カムイヌプリ山開き』と『市民登山会』が登別山岳会の主催により行われ、参加者は自然を満喫しながら心地良い汗を流しました。

30回目を迎えた今年は、小学生から80歳の高齢者までの76人が参加。登山口で今年1年間の安全を祈願した後、テープカットが行われ、カムイヌプリ（標高745メートル）の登山がスタートしました。

参加者は、シラネアオイやエゾエンゴサクなどの春の花に目を楽しませ、途中、沢や『鎖場』といわれる難所の岩場も無難に通過しました。頂上には約2時間をかけて参加者全員が登頂。太平洋や幌別の市街地の眺望を楽しみました。

下山後は、30回目の節目の記念として、同会の会員が早朝についた紅白のもちと山菜のてんぷらが振る舞われ、参加者は舌鼓を打ちながら、疲れた体を癒やしていました。

## 地場農畜産物のブランド化へ大きな弾み

### ～登別、室蘭市内の酪農家出荷の生乳が乳質全道一に～

室蘭登別酪農振興協議会に加入する登別、室蘭市内の酪農家14戸（登別市11戸、室蘭市3戸）が出荷した生乳が、北海道酪農検定検査協会（札幌市）の乳質検査で全道一に輝きました。

乳質の判定は生乳1リットル当たりの体細胞数と生菌数の少なさで行われ、飼養や衛生管理など乳質改善事業への地道な取り組みが結果に反映します。出荷した全量が両項目とも基準値を下回ったのは、登別市・室蘭市と函館市のみで、出荷した乳量の多い登別・室蘭が初めて全道一となりました。

今年1月には、札内高原館を拠点にアイスクリームやソーセージなど地場農畜産物の加工に取り組む(有)のぼりべつ酪農館が設立されており、今回の乳質全道一が牛乳など登別産乳製品のブランド化へ大きな弾みになることが期待されます。

